

田んぼがまちを守るヒーローに! ひみつの力を見てみよう!



大雨がふえて、まちがあぶない…!? でも、田んぼには雨をためて、ゆっくり流す力があるんだ。少しの工夫で、洪水からまちを守る強〜い味方にパワーアップするんだよ!

大雨がふえて、洪水が起きやすくなっている!?



40年前とくらべて、滝のような雨がふる回数は1.5倍に!

地球温暖化のせい?

雨のふり方や天気が変わってきて、短い時間にたくさん雨がふることが多くなっています。

水路や川だけでは足りない?

一気にたくさん雨がふると、水路や川で水を流しきれず、あふれてしまうことがあります。

雨がしみこみにくい?

コンクリートやアスファルトがふえて、雨が地面にしみこみにくくなっている場所が増えています。

どうして洪水がふえてるの?

ちょっとした工夫で、 田んぼがパワーアップ!?



「田んぼダム」は、田んぼのもつ「洪水をふせぐ力」をもっと高める!

どうやってパワーアップ?



せき板をつけるだけで、もっと水がたまる!

田んぼには、水が出ていく出口があります。「田んぼダム」では、その出口に小さい穴のあいたせき板をつけます。そうすると、

- 水をためられる量がふえる
- 水が少しずつ流れるようになる

水がいきなり水路や川に流れ出るのをおさえ、洪水のリスクをへらすことができます。



田んぼは、昔から洪水をふせぐ力を持っていた!?



日本じゅうの田んぼがためられる水の量は、なんと東京ドーム約4,000杯分!

田んぼの力を見てみよう!

ポイント1

水をためる

田んぼは、まるで大きなプール。雨がふったとき、すぐには流さず、いったん水をためておくことができます。



ポイント2

水を少しずつ流す

田んぼにふった雨は、少しずつ水路や川へ。ゆっくりと時間をかけて流れるから、水路や川の水が急にふえてあふれるのをふせげます。



ポイント3

力を合わせる

一枚一枚の田んぼは小さくても、日本じゅうの田んぼが力を合わせれば、大きなダムのような働きをします。



水路や川にいきなり流れこむ水を、ぐっと少なくできる!



「田んぼダム」をしない場合



「田んぼダム」をする場合



田んぼで雨水をためてゆっくり流す



みんなの町でも「田んぼダム」が広がるほどすごい力に!



いつもの農業で防災も。農家さんのお米づくりのじゃまになりません。

道具がシンプル。かんたんにはじめられて、お金も、あまりかかりません。

今では全国の市町村に広がっていて、防災に役立つと注目されています。